

教科・科目	対象学年	授業時数	教科書
保健体育・保健	1年	1	大修館書店・新高等保健体育
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な健康、安全に関する事柄を理解し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。 ・健康や安全の課題に対する適切な対処法を知り、自らの心身の健康的な生活行動の選択と実践ができる能力を身に付ける。 		
学期	学習内容 (単元)	到達度目標	
1 学 期	1. 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解することができる。 ・健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解することができる。 ・健康の考え方がどのように変化してきたのか理解することができる。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解することができる。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解することができる。 ・健康を保持・増進するための環境について理解することができる。 ・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解することができる。 ・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解することができる。 ・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解することができる。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解することができる。 	
	(1) 日本における健康課題の変遷		
	(2) 健康の考え方と成り立ち		
	(3) ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。		
	(4) 健康に関する意思決定・行動選択		
2 学 期	(5) 現代における感染症の問題		
	(6) 感染症の予防		
	(7) 性感染症・エイズとその予防		
	(8) 生活習慣病の予防と回復		
	(9) 身体活動・運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・身体活動・運動と健康の関係について理解することができる。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解することができる。 	

	(10) 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康の関係について理解することができる。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解することができる。
3 学 期	(11) 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・休養・睡眠と健康の関係について理解することができる。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解することができる。
	(12) がんの予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> ・がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解することができる。 ・がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解することができる。
	(13) 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙による健康への影響について理解することができる。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解することができる。
	(14) 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒による健康への影響について理解することができる。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解することができる。
	(15) 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用による健康および社会への影響について理解することができる。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解することができる。
	(16) 精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解することができる。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解することができる。

教科・科目・領域等	対象学年	授業時数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2年	1	大修館書店 新高等保健体育	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な健康、安全に関する事柄を理解し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。 ・健康や安全の課題に対する適切な対処法を知り、自らの心身の健康的な生活行動の選択と実践ができる能力を身に付ける。 			
学期	学習内容 (単元)	到達度目標		
1 学期	2. 安全な社会生活 (1) 事故の現状と発生要因 (2) 交通事故防止の取り組み (3) 安全な社会の形成 (4) 応急手当の意義と救急医療体制 (5) 心肺蘇生法 (6) 日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解することができる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解することができる。 ・交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解することができる。 ・交通事故には補償など法的責任が生じることを理解することができる。 ・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解することができる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解することができる。 ・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解することができる。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解することができる。 ・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解することができる。 ・心肺蘇生法ができる。 ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解することができる。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解することができる。 		
2 学期	3. 生涯を通じる健康 (1) 思春期と健康 (2) 性意識の変化と性行動の選択 (3) 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟について理解することができる。 ・思春期に起こりやすい健康課題について理解することができる。 ・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解することができる。 ・性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解することができる。 ・結婚生活と健康との関係について理解することができる。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解することができる。 		

2 学 期	<p>(4) 妊娠・出産と健康</p> <p>(5) 家族計画</p> <p>(6) 加齢と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産の過程と、それに伴う健康課題について理解することができる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解することができる。 ・家族計画の意義について理解することができる。 ・人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解することができる。 ・加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解することができる。 ・若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解することができる。
3 学 期	<p>(7) 高齢社会に対応した取り組み</p> <p>(8) 働くことと健康</p> <p>(9) 労働災害の防止</p> <p>(10) 働く人の健康づくり</p> <p>(11) 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会における健康課題について理解することができる。 ・高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解することができる。 ・働くことの意義と働き方の多様化について理解することができる。 ・働く人における健康問題について理解することができる。 ・労働環境の変化に伴い、労働災害の要因も変化していることを理解することができる。 ・労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解することができる。 ・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解することができる。 ・働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解することができる。 ・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解することができる。 ・健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解することができる。